

追悼の言葉

本日、この青木町平和公園にて、ご遺族の皆様をはじめ、関係各位のご参列のもと、「川口市 戦没者追悼式」が厳粛に執り行われるにあたり、市議会を代表いたしまして、謹んで追悼の言葉を申し述べさせていただきます。

先の大戦では、多くの尊い命が犠牲になりました。

祖国の平和と繁栄、そして、家族の安泰を心から願いながら、戦場で命を落とされた方々のご無念を思うと、誠に、哀惜の念に堪えません。

また、戦地からの無事の帰還を一日千秋の思いで待ちわびながらも、願い叶わず、愛する家族を失ったご遺族の悲しみの深さは、言葉に尽くせぬものがあると存じます。

戦後 八十年の歳月が過ぎ去り、我が国は戦争のない平和な社会を築いてまいりました。

祖国の礎となられました方々のご功績を偲び、さらにまた、言い尽くせぬ辛苦を乗り越えてこられたご遺族の心中を察する時万感 胸に迫るものがあります。

わが郷土 川口市は、大いなる発展を続け、六十万人を超える人々が日々の生活を営む 豊かで活気のある まちへと大きく変貌しました。

これもひとえに、先人たちの尊い犠牲の上に得られたものであることを、私たちは決して忘れてはなりません。

戦争を実際に経験された方々が、今後、益々少なくなつて

いく現実^{じじ}に接し、今こそ、戦争の悲惨さを風化させることなく、しっかりと引き継ぎ、昭和・平成、そして令和の時代も戦争のない平和な時代となるよう決意を新たに致す次第でございます。

結びに、戦没者の御霊の安らかなご冥福と、ご遺族の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げまして、追悼の言葉といたします。

令和七年十月四日

川口市議会議長 古川 九一